

# 今後の防衛力整備のあり方について・概要

- 防衛生産・技術基盤の強化に向けて -

2004年7月20日  
(社)日本経済団体連合会

## わが国の安全保障を取り巻く環境の変化

- 安全保障環境の変化 → テロ、ミサイル、サイバーテロ、大災害など脅威が多様化
- 自衛隊の活動の多様化 → 専守防衛に加え、国際協力業務、災害派遣等多様化
- 技術の高度化 → 民生技術も活用する形で防衛技術は飛躍的に進歩
- わが国防衛産業を取り巻く状況 → 装備予算の減少、産業・技術基盤の弱体化
- 国際的な連携の進展 → 多国間連携の下での装備開発・生産・運用が進展

## 今後の安全保障基盤の強化に向けた基本的考え方

1. 多面的・総合的な国家の安全保障基本方針と、これを担う産業政策の確立
2. 防衛・民生の垣根を越え、広く「安心・安全」に関する技術開発を推進し、競争力強化、技術優位性を確保
3. 防衛産業も自らの体質強化を図り、国際競争力を高め、防衛力の基礎を強化

## 新時代に対応した安全保障基盤の確立に向けた課題

### 1. 安全保障基盤の確立に資する省庁連携・予算の適正な確保

「安心・安全」に関わる関連省庁が連携した、効率的な予算の活用  
今後、重点的に整備すべき装備・技術、研究・開発・調達等の明確化

### 2. 先端技術の育成・強化と安全保障への積極的な利活用

国の基幹技術として、広範な安全保障関連技術を育成強化

### 3. 装備・技術の選択と集中

安全保障上不可欠な装備・技術を幅広い見地から判断するとともに、防衛産業のあり方を明確化

### 4. 防衛基盤の強化に向けた方策

(1) 武器輸出管理政策 わが国を取り巻く安全保障環境、国益の観点から見直し

(2) 宇宙の活用 宇宙の平和利用原則(解釈)の見直し

(3) 取得・調達の改善など

(4) 民間レベルでの対外的な装備・技術協力のための環境整備